

【オリコンサルグローバル ミャンマー 鉄道整備等で合同起工式 入札支援、施工監理を担当】

ミャンマー 鉄道整備等で合同起工式

オリコンサルグローバル

入札支援、施工監理を担当

オリエンタルコンサルタンツグローバルは、ミャンマー国における「ヤンゴン・マンダレー鉄道整備事業(フェーズ1)」

と「ヤンゴン環状鉄道改修事業」において、両事業の入札支援、施工監理業務を担当するコンサルタンのJV代表者を務めており、18日にヤンゴン中央駅において、合同起工式が執り行われた。写真。



同起工式は、「ヤンゴン・マンダレー鉄道整備事業(フェーズ1)」で発注される8パッケージのうち、CP101(バズンダ〜バゴー間土木工事)を対象とした区間(約70.8キ)、ヤンゴン環状鉄

道改修事業(46キ)で発注される2パッケージのうち、CP201(信号工事)を対象としている。式典には、タン・ズイン

・マウン運輸通信大臣、ピョー・ミン・ティンヤンゴン管区政府首相、ティン・マウン・トゥンヤンゴン管区政府議会議長、バー・ミン・ヤン・マウ国鉄総裁、丸山市郎在ミャンマー日本国特命全権大使、唐澤雅幸国際協力機構ミャンマー事務所長ら多数の要人が出席した。

両事業は、ミャンマー最大の商業都市ヤンゴン、首都ネピドー、第2の商業都市であるマンダレーを結ぶ「ヤンゴン・マンダレー鉄道」ならびにヤ

ンゴン市内を走る「ヤンゴン環状鉄道」のそれぞれを対象に、老朽化した施設や設備などの改修近代化を行う。

「ヤンゴン・マンダレー鉄道整備事業(フェーズ1)」CP101の施工監理は、オリエンタルコンサルタンツグローバル・日本コンサルタンツ・パシフィックコンサルタンツ・トーニチコンサルタンツ・日本工営JV、施工は、フジタ・日本信号・住友商事JV。

「ヤンゴン環状鉄道改修事業」CP201の施工監理は、オリエンタルコンサルタンツグローバル・日本コンサルタンツ・日本工営JV、施工は、日

本信号・きんでん・住友商事JV。